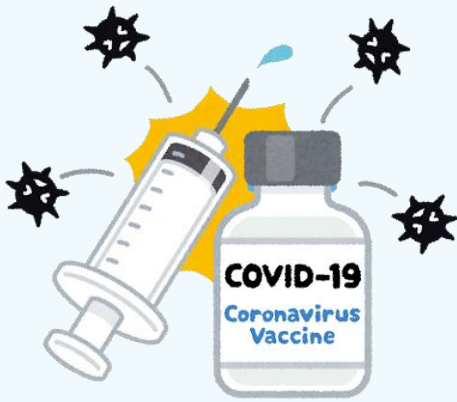


新型コロナウイルスの ワクチンについて

IBDの人もワクチンう ってもいいの？



① ワクチンとはどのようなものですか？

→ワクチンは身体に敵を覚えさせておいて、免疫をつけるものです。先に使用が開始されるファイザー、モデルナのワクチンはメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンといってウイルスの遺伝物質であるmRNAの一部を人工合成したものです。mRNAが人の細胞に取り込まれると、ウイルスのたんぱく質が作られ、細胞表面に表れ、これに免疫機能が反応し、抗体などができる仕組みです。

② 炎症性腸疾患 (IBD) があってもワクチン接種は可能ですか？ 免疫抑制剤を使用していても打ってもいいですか？

→打てます。免疫抑制療法を行なっている場合でも、生ワクチンではないため接種可能です。

③ ワクチンは有効ですか？

→90%以上の発症予防効果（ワクチンを打った人が打たない場合に比べて新型コロナウイルスによる症状を発症する確率が10分の1以下になること）とともに重症化も防ぐことができると報告されています。免疫抑制療法（ステロイド、アザチオプリン、抗TNF α 抗体など）治療中の方ではワクチンを打つことによる予防効果が落ちる可能性があります。メリットがデメリットを上回ると考えられる場合には接種することに問題はありません。

③ ワクチンは安全ですか？

→一般的に、“非”生ワクチンは免疫抑制療法の有無に関わらず、IBD患者さんに安全と考えられています。mRNAは、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていくこともあり、新型コロナワクチンもインフルエンザのワクチンと比較しても十分に安全とされています。インフルエンザワクチン同様に、注射した場所が腫れて痛んだり、微熱、倦怠感や頭痛が出たりという軽度な症状（副反応）が出る可能性があります。重篤な副作用は少なく、アナフィラキシーは100万人当たり2.5-11.1人（インフルエンザワクチンは1.3人）とされていますが、念のため接種後短時間は医療従事者による経過観察を受けてください。長期の安全性についてはわかっていません。

④ IBDの人は優先的に接種を受けられますか？

政府は、医療従事者、高齢者の次に持病のある方を優先するという方針を表明していますが、どのようにいつ行うのかなど詳細は発表されていません。

今後もさらにワクチンに関する有効性や安全性について新たな情報が出てきます。特に妊婦や小児、他の持病をお持ちの方などをはじめとして、個々で主治医とご相談ください。